令和　２年　11月　16日

　（栃木県選出）

衆議院議員　様

参議院議員　様

一般社団法人栃木県老人福祉施設協議会

会長　大山知子

(公印省略)

ポストコロナ社会における福祉介護政策に対する要望書

　未曾有のパンデミックの状況下において、我が国の経済活動、社会生活は大きな転換を迫られました。新型コロナウイルスにおけるワクチン開発、感染拡大防止策等、国内外から様々な知見をもとに、どのようにポストコロナ社会を描いていくか。その議論は緒についたところです。

　我々高齢者の命を預かる特別養護老人ホーム等の高齢者福祉・介護事業所においては、利用者の重症化リスクに鑑みて感染症予防に細心の注意を払い、ケアを行っております。諸外国に比べて、我が国で医療崩壊や死亡者数の急激な増加を抑えられているのも、職員一人ひとりが平素から感染症予防に対して努力を積み重ねてきた結果でもあり、その尽力は賛辞を以て称されるべきものです。

　しかしながら、国民の命を預かる社会インフラではあるものの、社会的評価や処遇は十分とはいえず、今般のコロナ禍において、身の安全や職責と処遇のギャップから職を辞した者もおります。

　ポストコロナ社会において、国民の命を支えている福祉介護従事者が安心・安全のもとに働くことができ、羨望される業界へと刷新できるよう、下記の通り要望いたします。

貴様におかれましては、本内容に関するご理解と、その実現に向けてご尽力賜りますよう衷心より厚くお願い申し上げます。

記

1. 令和３年度介護報酬改定については、コロナ禍への介護施設等の貢献と今後の感染症対策等への備えの観点から、特別養護老人ホームを中心に基本報酬のプラス改定を実現すること
2. 社会福祉法人における歴史的経緯と、法改正により透明性が担保されたことを踏まえ、法人税非課税を引き続き堅持すること
3. 介護従事者のさらなる処遇改善に努め、全産業平均との賃金差解消に努めること
4. 外国人介護従事者や潜在介護福祉士の復職支援等の多様な参入機会の充実と介護従事者の質を高める研修機会の充実並びに柔軟な受講機会を確保すること
5. 高齢者の生活の選択肢を損なわない観点から、低所得高齢者の生活施設としてプライバシーが確保された多床室とユニット型施設について、バランスよく改修・改築・整備を行うこと
6. 利用者の安心・安全の確保及び介護従事者の負担軽減の観点を実現するため、基金等を用いてICT導入等を強力に推進し、介護現場革新に努めること
7. 高齢者本人の尊厳と自立支援の観点に立ち、認知症の進行を遅らせる取り組みや高齢者施設におけるケアへの評価を充実し、認知症にフレンドリーな社会の実現に努めること
8. 利用者の自由意思と個人を尊重したうえで、口腔ケア、栄養ケア、排せつケア、機能訓練、認知症ケア、看取りケアの観点からQOL向上に資する科学的介護を実現すること

以上